

会 見 年 月 日	令和3年1月20日（水曜日）
担 当 課	消防本部予防課、警防課
問い合わせ先	電話番号：43-6882、43-6883 FAX 番号：45-0119 (担当者名：西川、大釜)

「第67回文化財防火デー」に伴う予防査察及び消防訓練について

1. 趣 旨

1月26日は、法隆寺金堂壁画が焼損した日（昭和24年）にあたり、この日を「文化財防火デー」と定め、この日を中心として文化財等を火災、震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、文化財愛護思想の高揚を図っています。

今年には予防査察を1月21日（木）、22日（金）に赤穂市内13箇所の文化財について実施します。

また、消防訓練は1月26日（火）「赤穂市立歴史博物館」において実施します。

2. 内 容

(1) 予防査察

ア 日 時 令和3年1月21日（木）午前 9時00分から（赤穂地区）
1月22日（金）午前10時30分から（有年地区）

イ 対 象 赤穂の製塩用具 外（赤穂市立歴史博物館）
大石良雄宅跡長屋門（赤穂大石神社）
近藤源八宅跡長屋門
旧日本専売公社赤穂支局（赤穂市立民俗資料館）
木造浅野赤穂藩主坐像（光浄寺）
妙見寺観音堂（妙見寺）
旧坂越浦会所
木造千手観音坐像（普門寺）
田淵家文書 外（赤穂市立美術工芸館田淵記念館）
田淵氏庭園
有年考古館収蔵考古資料（赤穂市立有年考古館）
有年家長屋門
東有年・沖田遺跡（東有年・沖田遺跡公園）

以上13箇所

(2) 消防訓練

ア 日 時 令和3年1月26日(火) 午前8時30分から

イ 場 所 赤穂市上飯屋916番地1「赤穂市立歴史博物館」

ウ 訓練詳細 別紙のとおり

(3) 備 考

実施機関 赤穂市消防本部及び教育委員会生涯学習課文化財担当

第67回文化財防火デーに係る消防訓練の実施について

- 1 目的 「第67回文化財防火デー」を迎えるにあたり、貴重な財産である文化財を火災等の災害から守るために消防訓練を実施することで、消防戦術の確立を図ると共に、市民の文化財愛護に関する意識の高揚を図ることを目的とする。
- 2 日時 令和3年1月26日（火）8時30分～
- 3 場所 赤穂市上仮屋916番地1 赤穂市歴史博物館
※国指定有形民俗文化財 赤穂入浜式製塩用具
- 4 訓練想定 歴史博物館北側の植木に通行人がたばこを投げ捨て出火したものの。現在、強風に煽られ建物へ延焼危険がある模様。
なお、建物内の来場者等は避難している。
- 5 訓練内容 赤穂21 指揮車
災害状況の把握及び活動方針を決定し、各隊に活動内容を下命する。

赤穂23 タンク車
駐車場に車両を部署。赤穂31へ送水を行うと共に、一線延長し、地上放水を行う。

赤穂24 ポンプ車
消火栓に水利部署し、赤穂23へ補水を行う。

赤穂31 大型高所放水車
駐車場に車両を部署。赤穂23から送水を受け高所放水を行う。バスケット内の隊員は、災害状況を確認し小隊長へ報告する。

赤穂27 15m級はしご車
駐車場に車両を部署。赤穂29から送水を受け、高所放水を行う。バスケット内の隊員は、災害状況を確認し小隊長へ報告する。

赤穂 29 ポンプ車

駐車場西側の堀から自然水利を吸水し、赤穂 27 へ送水すると共に 1 線延長し地上放水を行う。

ドローン

建物周辺を飛行させ、延焼状況の把握を行い、指揮本部に報告する。

6 参加者 赤穂消防署 消防長以下 28 名

7 その他 雨天決行で実施します。

以上

